

目次

★ 発生動向総覧	P1~3
★ 感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況	P3
★ 指定届出機関からの特記事項欄コメント	P3~4
★ 全数把握感染症集計表	P5
★ 定点把握感染症集計表	P6~10
★ 定点把握感染症推移グラフ	P11~15
★ 定点把握感染症集計表(月報)	P16~19
★ 定点把握感染症推移グラフ(月報)	P20~21
★ インフルエンザの流行状況、注意喚起	P22~23
★ 日本脳炎患者の発生について	P24~25
★ 新型コロナウイルス感染症の状況	P26~



発生動向総覧

◆全数届出の感染症

- 1類感染症 報告なし
- 2類感染症 結核(富士(2)、中部(2)、浜松市(2))
- 3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症(東部(3))
- 4類感染症 デング熱(中部(1))、レジオネラ症(東部(1)、浜松市(1))
- 5類感染症 梅毒(静岡市(2)、中部(1)、西部(1))

◆定点把握の対象となる5類感染症(週報対象のもの)

環境衛生科学研究所
感染症情報センター

感染症発生動向調査

令和5年第43週(10/23～10/29)の動向

警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値(開始基準値)以上で開始し、別の基準値(終息基準値)未達で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合です。警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

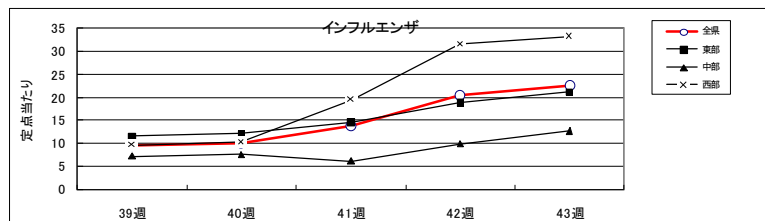
疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

【今週のコメント】

第43週(10/23～10/29)の感染症発生動向調査では、静岡県内のインフルエンザの定点当たり報告数が22.64人となり、前週の20.38から増加しました。西部地区は、定点当たり報告数が33.17人となり前週から警報レベルの開始基準値30を超えている状況です。

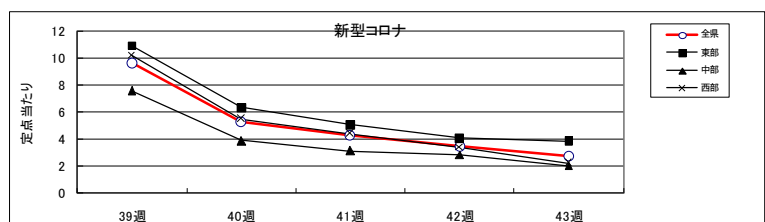
【インフルエンザ】

全県で罹患数3,147、定点当たり22.64の患者発生があり、前週の20.38から増加した。定点当たりは、東部地区で21.12、中部地区で12.67、西部地区で33.17の発生があった。西部地区は、前週から警報レベルの開始基準値30を超えている状況。



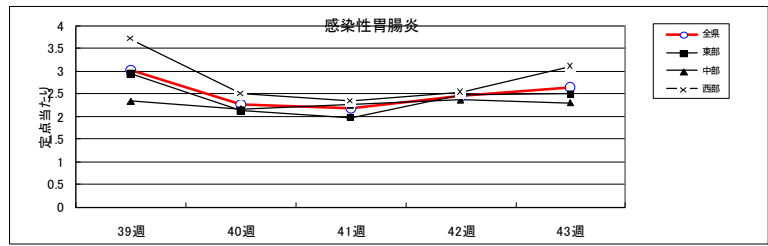
【新型コロナ】

全県で罹患数379、定点当たり2.73の患者発生があり、前週の3.44から減少した。定点当たり東部地区で3.84、中部地区で1.98、西部地区で2.21の患者が発生した。



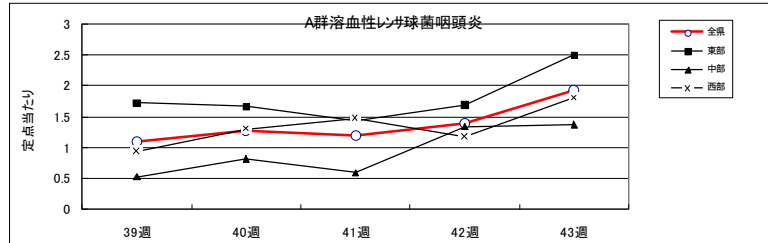
【感染性胃腸炎】

全県で罹患数235、定点当たり2.64の患者発生があり、前週の2.46から増加した。定点当たり東部地区で2.5、中部地区で2.3、西部地区で3.1の患者が発生した。



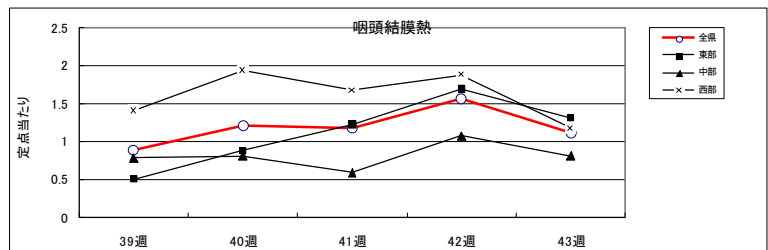
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

全県で罹患数171、定点当たり1.92の患者発生があり、前週の1.4から増加した。定点当たり東部地区で2.5、中部地区で1.37、西部地区で1.8の患者が発生した。



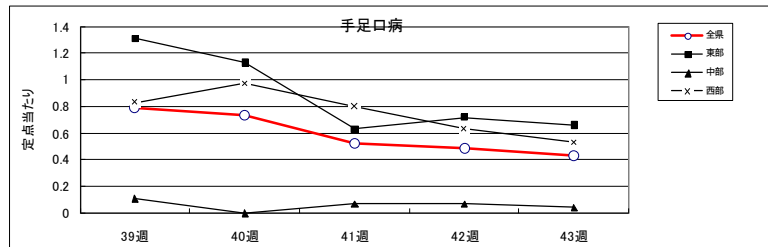
【咽頭結膜熱】

全県で罹患数99、定点当たり1.11の患者発生があり、前週の1.56から減少した。定点当たり東部地区で1.31、中部地区で0.81、西部地区で1.17の患者が発生した。



【手足口病】

全県で罹患数38、定点当たり0.43の患者発生があり、前週の0.49から僅かながら減少した。定点当たり東部地区で0.66、中部地区で0.04、西部地区で0.53の患者が発生した。

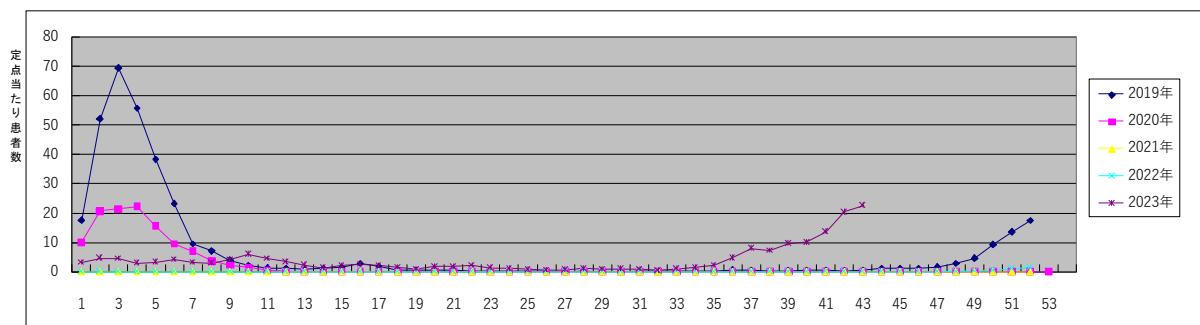


・麻疹、風疹は患者発生なし。

・全国のインフルエンザの発生は19.68で前週の16.41から増加した。警報レベルの保健所を有する都道府県は24から31に、注意レベルの保健所を有する都道府県は42から43に増加した。

・静岡県において第43週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)インフルエンザ(22.64)、2)新型コロナ(2.73)、3)感染性胃腸炎(2.64)、4)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(1.92)、5)咽頭結膜熱(1.11)、6)流行性角結膜炎(0.5)であった。

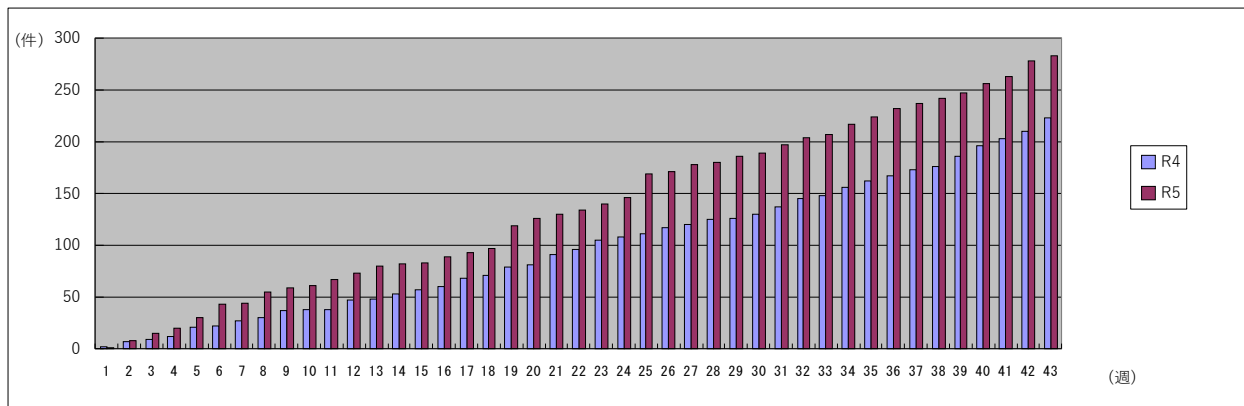
【インフルエンザ罹患数推移】



週	型	A/H1	A/H3	B/山形	B/Victoria
		pdm09		系統	系統
R5年 第40週	静岡県	8	6		
	静岡市	1	1		
	浜松市				
R5年 第41週	静岡県	5	4		
	静岡市				
	浜松市				
R5年 第42週	静岡県	2	7		
	静岡市	2	4		
	浜松市				
R5年 第43週	静岡県				
	静岡市	1			
	浜松市				

【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】

・第43週は前年同期比1.27倍の増加となった。



◆感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況

- 警報 インフルエンザ(賀茂、御殿場、西部)、咽頭結膜熱(御殿場、西部)
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(御殿場)、伝染性紅斑(御殿場)
 注意報 インフルエンザ(東部、富士、静岡市、中部、浜松市)



指定届出機関からの特記事項欄コメント

感染症第43週(令和5年10月23日～令和5年10月29日)

高野医院(伊東市)「インフルエンザA型 12名、新型コロナ 6名」

函南平出クリニック(函南町)「新型コロナ 3名、インフルエンザA型 80名、インフルエンザB型 1名、ヒトメタニューモ 2名、咽頭アデノ 17名、眼アデノ 3名、ヘルパンギーナ 1名、溶連菌 11名」

クボタ小児科(三島市)「インフルエンザA型 15名」

白十字小児科医院(沼津市)「インフルエンザA型 52名」

よぎ小児科医院(沼津市)「インフルエンザA型 25名、新型コロナ 2名」

光ヶ丘小児科(三島市)「新型コロナ 4名、腸管アデノ 2名、インフルエンザA型 50名、ヒトメタニューモ 1名、咽頭アデノ 7名」

なかがわ医院(小山町)「インフルエンザA型 14名」
 安田内科小児科医院(御殿場市)「インフルエンザA型 60名、新型コロナ 24名」
 富士病院(御殿場市)「インフルエンザA型 31名、インフルエンザB型 1名」
 たうち小児科医院(御殿場市)「インフルエンザA型 66名」
 お八幡医院(御殿場市)「インフルエンザA型 18名」
 小川小児科内科医院(富士市)「インフルエンザA型 139名、インフルエンザB型 1名、新型コロナ 10名」
 木村内科医院(富士市)「インフルエンザ 2名」
 共立蒲原総合病院・内科(富士市)「インフルエンザ 8名、新型コロナ 9名」
 共立蒲原総合病院・小児科(富士市)「インフルエンザ 7名、新型コロナ 1名」
 幸治小児科医院(富士市)「インフルエンザ 50名」
 聖隷富士病院(富士市)「インフルエンザ 7名、新型コロナ 5名」
 瀬尾小児科内科医院(富士市)「インフルエンザ 40名、新型コロナ 3名」
 田子浦クリニック(富士市)「インフルエンザ 41名、新型コロナ 5名」
 谷口小児科医院(富士宮市)「インフルエンザ 28名、新型コロナ 3名」
 永松医院(富士宮市)「インフルエンザ 11名、新型コロナ 3名」
 南陽堂内科循環器科クリニック(富士宮市)「インフルエンザ 1名」
 富士市立中央病院(富士市)「インフルエンザ 5名、新型コロナ 4名」
 富士宮市立病院(富士宮市)「インフルエンザ 2名、新型コロナ 1名」
 三浦医院(富士宮市)「インフルエンザ 37名、新型コロナ 1名」
 伊藤医院(湖西市)「インフルエンザA型 3名」
 ふたばクリニック(磐田市)「インフルエンザA型 124名」
 きもと小児科(湖西市)「インフルエンザA型 14名」
 クリニックパパ(浜松市)「ヒトメタニューモ 10名、咽頭アデノ 16名、インフルエンザA型 52名」
 今西こどもクリニック(浜松市)「咽頭アデノ 2名」
 げんきこどもクリニック(浜松市)「インフルエンザA型 35名」
 いぬかい小児科(浜松市)「インフルエンザA型 35名」
 幸田子供クリニック(浜松市)「インフルエンザA型 20名」
 天竜こども医院(浜松市)「咽頭アデノ 4名、インフルエンザA型 126名」
 小児科竹内医院(浜松市)「インフルエンザA型 39名」
 くまがいくリニック(浜松市)「インフルエンザA型 21名」
 みかえ内科クリニック(浜松市)「インフルエンザA型 2名、インフルエンザB型 1名」

※特記事項欄コメントによるインフルエンザウイルス型別状況(2023-2024 シーズン累計)

区分	報告数	割合
インフルエンザA型	4,341名	99.6%
インフルエンザB型	17名	0.4%

疾患名	区分	静岡県							全国				
		38週	39週	40週	41週	42週	今週	年累計	40週	41週	42週	今週	年累計
エボラ出血熱													
クリミア・コンゴ出血熱													
痘そう													
南米出血熱													
ペスト													
マールブルグ病													
ラッサ熱													
急性灰白髄炎													
結核		4	5	5	3	5	6	286	261	179	215	234	11,816
ジフテリア													
重症急性呼吸器症候群(SARS)													
中東呼吸器症候群(MERS)													
鳥インフルエンザH5N1													
鳥インフルエンザH7N9													
コレラ													2
細菌性赤痢									2	1	1	3	35
腸管出血性大腸菌感染症		2	2	1	2	3	3	47	73	89	98	101	3,230
腸チフス									1	2			34
パラチフス													8
E型肝炎								6	8	7	10	4	457
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
A型肝炎										1	1	2	45
エキノкокクス症										1			12
エムポックス								1	2	2	1	5	209
賞熱													
オウム病													8
オムスク出血熱													
回帰熱													21
キャサスル森林病													
Q熱													
狂犬病													
コクシジオイデス症													2
ジカウイルス感染症									1				1
重症熱性血小板減少症候群								3	5		1	2	127
腎症候性出血熱													
西部ウマ脳炎													
ダニ媒介脳炎													
炭疽													
テングニア熱										1	1		6
つつが虫病									1	1	1	7	127
デング熱							1	2	4	2	4	4	130
東部ウマ脳炎													
鳥インフルエンザ													
ニパウイルス感染症													
日本紅斑熱						1		7	27	18	21	23	452
日本脳炎						1		1			2		4
ハンタウイルス肺炎候群													
Bウイルス病													
鼻疽													
ブルセラ症												1	2
ベネズエラウマ脳炎													
ヘンドラウイルス感染症													
発しんチフス													
ポツリヌス症													
マラリア										1	2		25
野兔病													
ライム病											1	1	29
リッサウイルス感染症													
リフトバレー熱													
類鼻疽													
レジオネラ症				2				2	56	40	44	40	1,915
レプトスピラ症						1			1	3	1	3	41
ロッキー山紅斑熱													
ア메ーバ赤痢								11	7	1	5	4	408
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)								3	1		3	5	203
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症					1	1		19	34	37	43	45	1,698
急性弛緩性麻痺									1		2	1	50
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)				1				19	10	3	21	10	481
クリプトスポリジウム症									1				10
クロイツフェルト・ヤコブ病								6	1	1	2		128
劇症型溶血性レンサ球菌感染症								19	10	10	13	19	699
後天性免疫不全症候群								14	5	5	18	9	771
ジアルジア症								2		1			35
慢性的インフルエンザ菌感染症		1						10	9	9	3	10	461
慢性的髄膜炎菌感染症												1	14
慢性的肺炎球菌感染症								29	15	18	28	37	1,440
水痘(入院例に限る)				2				12	6	4	5	5	309
先天性風しん症候群													
梅毒		3	2	7	7	4	2	283	162	191	172	188	12,434
播種性クリプトкокクス症								2	1	3	4	2	141
破傷風								2	3	1	5	1	89
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症								11	3	1	1	1	100
百日咳								9	26	20	30	15	8,006
風しん													11
麻疹								2					25
薬剤耐性アシネトバクター感染症													13
新型コロナウイルス感染症											1		

※医療機関から届出の追加や取り下げがあった場合、増減することがあります。

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムポックス」に、「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」は「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変わりました。

定点把握感染症集計表(届出数)

2023年 43 週

	静岡県							全国				
	38週	39週	40週	41週	42週	今週	計	40週	41週	42週	今週	計
RSウイルス感染症	18	23	17	13	2	5	78	575	381	305	238	1,499
咽頭結膜熱	64	79	108	105	139	99	594	5,854	5,516	6,795	7,635	25,800
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	76	97	114	106	125	171	689	6,316	5,902	8,417	9,611	30,246
感染性胃腸炎	189	268	201	194	219	235	1,306	8,926	8,235	9,637	10,488	37,286
水痘	4	9	8		2	6	29	301	261	319	317	1,198
手足口病	47	70	65	46	44	38	310	4,979	3,760	3,229	2,697	14,665
伝染性紅斑	6	2	7	2	2	8	27	58	26	36	53	173
突発性発しん	21	25	17	23	30	19	135	796	688	772	681	2,937
ヘルパンギーナ	25	26	46	19	14	10	140	1,667	929	742	545	3,883
流行性耳下腺炎		3	3	4	1	3	14	140	115	120	109	484
インフルエンザ	999	1,335	1,401	1,902	2,833	3,147	11,617	49,212	54,709	81,160	97,292	282,373
新型コロナウイルス感染症	1,701	1,341	735	589	478	379	5,223	25,630	18,587	16,075	14,125	74,417
急性出血性結膜炎		1		2			3	13	8	7	9	37
流行性角結膜炎	10	10	10	9	6	11	56	609	581	614	578	2,382
細菌性髄膜炎		1					1	9	6	15	7	25
無菌性髄膜炎						1	3	24	22	17	18	44
マイコプラズマ肺炎	4			2	1		7	28	25	38	23	114
クラミジア肺炎(オウム病は除く)								1				1
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								3	1	2		6

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

定点把握感染症集計表(定点当り)

2023年 43 週

	静岡県						全国			
	第38週	第39週	第40週	第41週	第42週	今週	第40週	第41週	第42週	今週
RSウイルス感染症	0.20	0.26	0.19	0.15	0.02	0.06	0.18	0.12	0.10	0.08
咽頭結膜熱	0.72	0.89	1.21	1.18	1.56	1.11	1.87	1.75	2.16	2.43
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.85	1.09	1.28	1.19	1.40	1.92	2.01	1.88	2.67	3.05
感染性胃腸炎	2.12	3.01	2.26	2.18	2.46	2.64	2.85	2.62	3.06	3.33
水痘	0.04	0.10	0.09		0.02	0.07	0.10	0.08	0.10	0.10
手足口病	0.53	0.79	0.73	0.52	0.49	0.43	1.59	1.20	1.03	0.86
伝染性紅斑	0.07	0.02	0.01	0.02	0.02	0.09	0.02	0.01	0.01	0.02
突発性発しん	0.24	0.28	0.19	0.26	0.34	0.21	0.25	0.22	0.25	0.22
ヘルパンギーナ	0.28	0.29	0.52	0.21	0.16	0.11	0.53	0.30	0.24	0.17
流行性耳下腺炎		0.03	0.03	0.04	0.01	0.03	0.04	0.04	0.04	0.03
インフルエンザ	7.19	9.60	10.08	13.68	20.38	22.64	9.99	11.07	16.41	19.68
新型コロナウイルス感染症	12.24	9.65	5.29	4.24	3.44	2.73	5.20	3.76	3.25	2.86
急性出血性結膜炎		0.05		0.09			0.02	0.01	0.01	0.01
流行性角結膜炎	0.45	0.45	0.45	0.41	0.27	0.50	0.89	0.83	0.88	0.83
細菌性髄膜炎		0.10					0.02	0.01	0.03	0.01
無菌性髄膜炎						0.10	0.05	0.05	0.04	0.04
マイコプラズマ肺炎	0.40			0.20	0.10		0.06	0.05	0.08	0.05
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0.00			
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.01	0.00	0.00	

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

感染症 43 週

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	5	0.06	99	1.11	171	1.92	235	2.64	6	0.07
賀茂					1	0.50	2	1.00		
熱海			2	0.50	3	0.75	1	0.25		
東部			19	1.46	24	1.85	47	3.62		
御殿場	2	0.50	15	3.75	39	9.75	17	4.25	1	0.25
富士			6	0.67	13	1.44	13	1.44	1	0.11
静岡市			19	1.19	16	1.00	38	2.38	2	0.13
中部	1	0.09	3	0.27	21	1.91	24	2.18	1	0.09
西部	1	0.08	19	1.58	8	0.67	15	1.25	1	0.08
浜松市	1	0.06	16	0.89	46	2.56	78	4.33		

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	38	0.43	8	0.09	19	0.21	10	0.11	3	0.03
賀茂										
熱海	2	0.50					2	0.50	2	0.50
東部	10	0.77					5	0.38		
御殿場			8	2.00	1	0.25				
富士	9	1.00			4	0.44				
静岡市	1	0.06			1	0.06				
中部					2	0.18			1	0.09
西部	7	0.58			4	0.33	2	0.17		
浜松市	9	0.50			7	0.39	1	0.06		

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症		麻しん (全数報告)		風しん (全数報告)		指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	週計	累計	小児科	内科
総数	3147	22.64	379	2.73	0	2	0	0	89	50
賀茂	70	23.33	7	2.33					2	1
熱海	47	7.83	31	5.17					4	2
東部	367	18.35	46	2.30					13	7
御殿場	194	32.33	62	10.33					4	2
富士	378	25.20	46	3.07					9	6
静岡市	340	13.60	56	2.24					16	9
中部	192	11.29	27	1.59					11	6
西部	820	43.16	58	3.05		1			12	7
浜松市	739	26.39	46	1.64		1			18	10

*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類(定点把握対象)に追加されました。

感染症 43 週

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		11	0.50	0		1	0.10	0	
賀茂										
熱海										
東部			2	0.50						
御殿場										
富士			1	0.33						
静岡市			3	0.60						
中部			2	0.67						
西部			1	0.25						
浜松市			2	0.67			1	0.50		

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

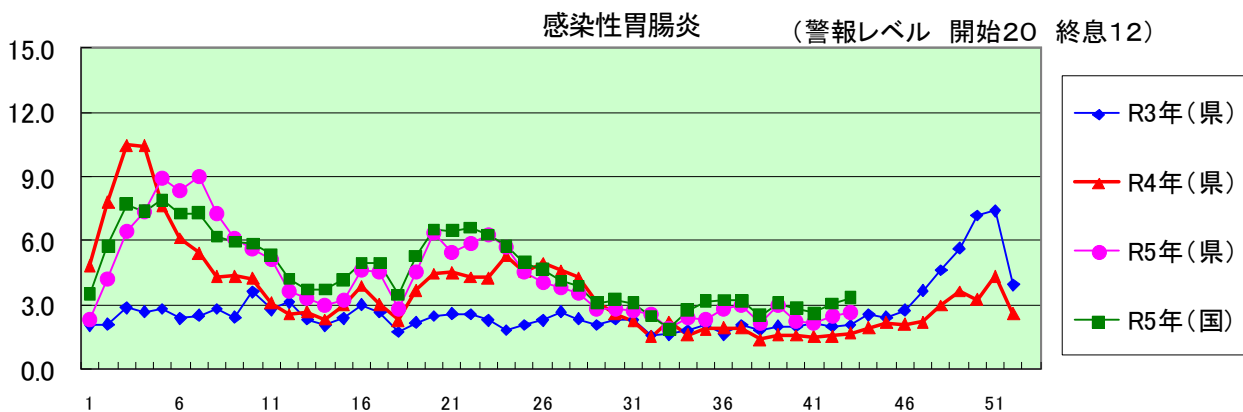
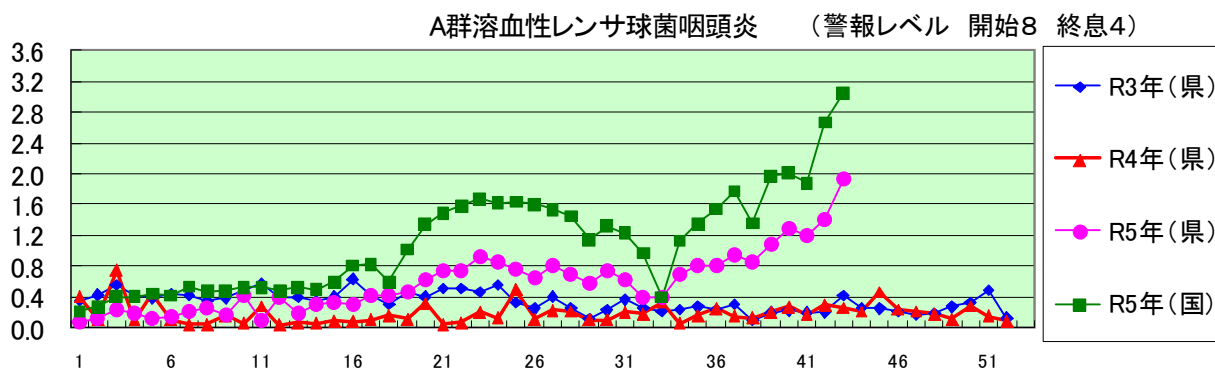
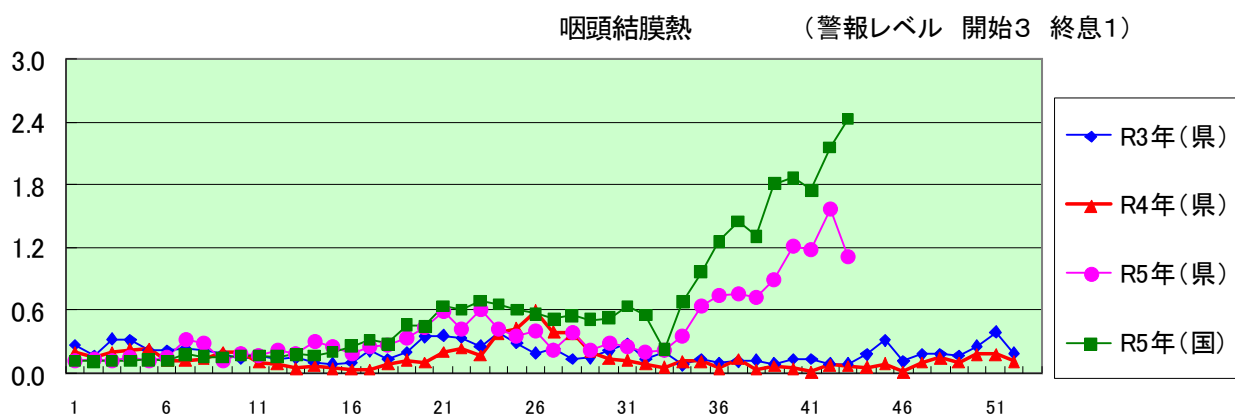
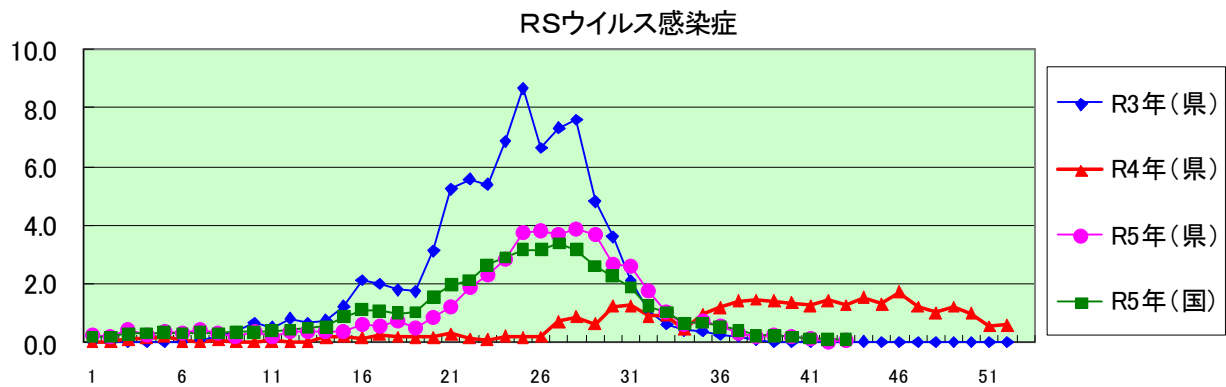
2023年 43 週

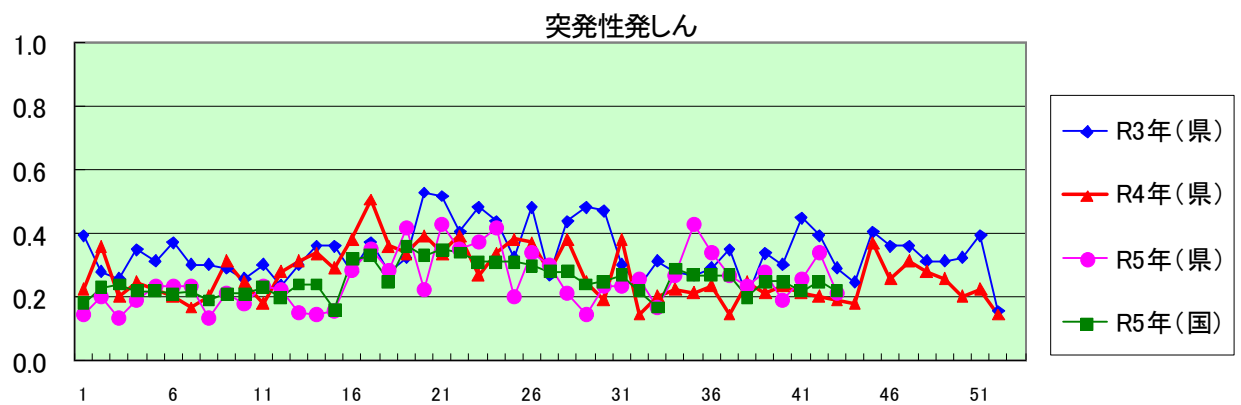
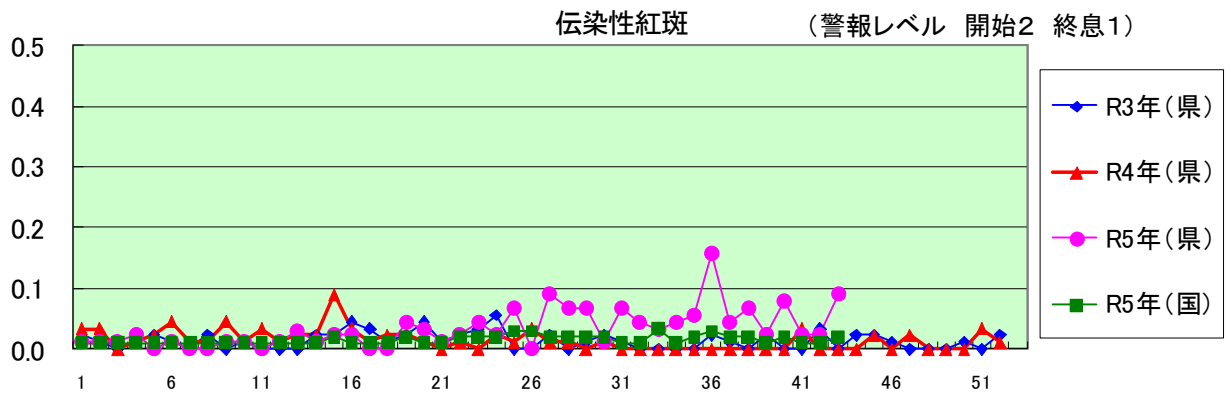
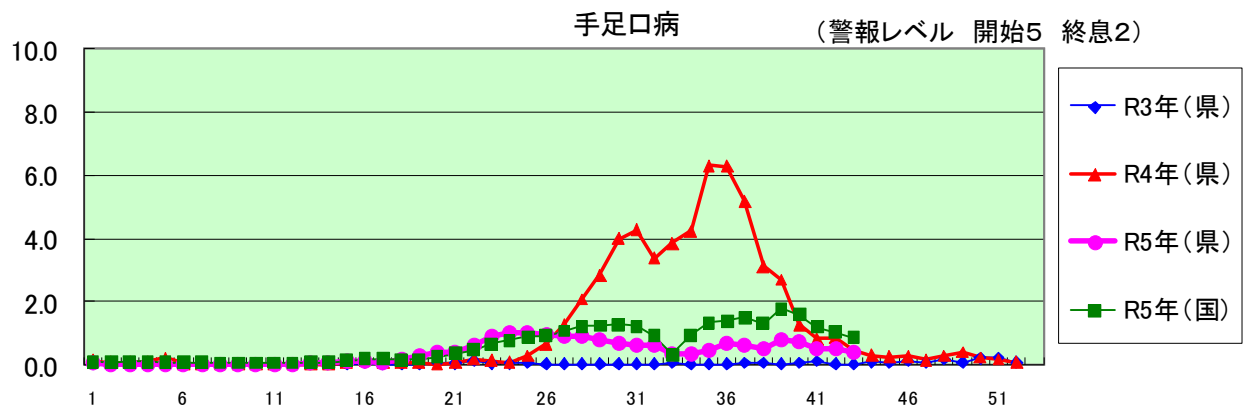
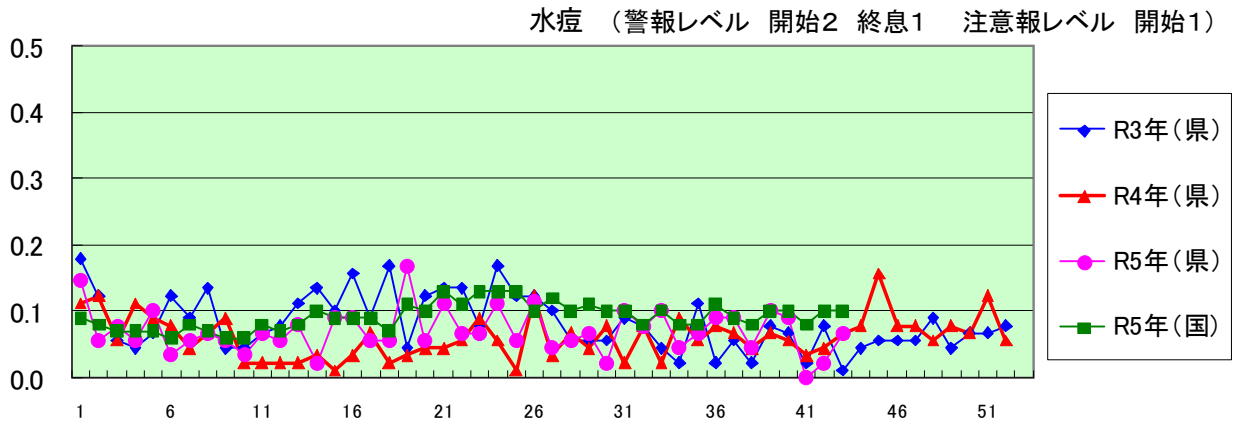
年齢階級区分	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計	
〃(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上								
〃(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上			
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上						
RSウイルス感染症	1		2	1			1														5	
咽頭結膜炎		2	10	17	19	15	18	9	4	1	2			1	1						99	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2	5	10	24	25	29	20	21	13	19									171	
感染性胃腸炎	2	11	37	19	24	31	29	17	8	8	10	33	2	4							235	
水痘	1		1								1	3									6	
手足口病		1	11	9	5	3	3	2		2	2										38	
伝染性紅斑		1	1		2		1	3													8	
突発性発しん		7	9	2	1																19	
ヘルパンギーナ			4	1	2		2			1											10	
流行性耳下腺炎								2				1									3	
インフルエンザ	8	7	57	71	82	131	193	204	222	239	182	855	303	100	148	179	65	47	25	29	3,147	
新型コロナウイルス感染症	6	2	10	4	6	8	5	3	3	3	4	38	26	25	35	40	47	29	40	45	379	
急性出血性結膜炎																						
流行性角結膜炎	1			2				1							2	2		2	1		11	
細菌性髄膜炎																						
無菌性髄膜炎										1											1	
マイコプラズマ肺炎																						
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																						
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																						

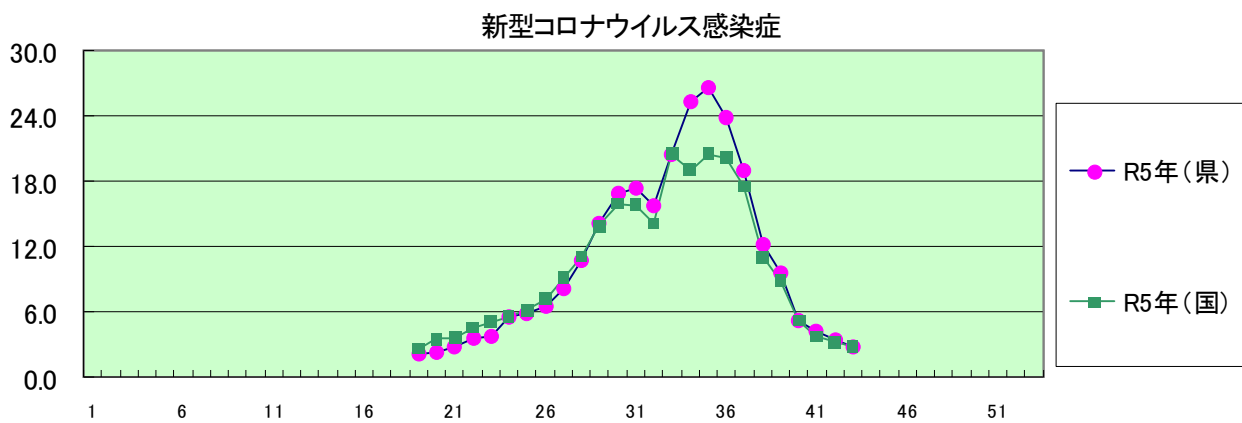
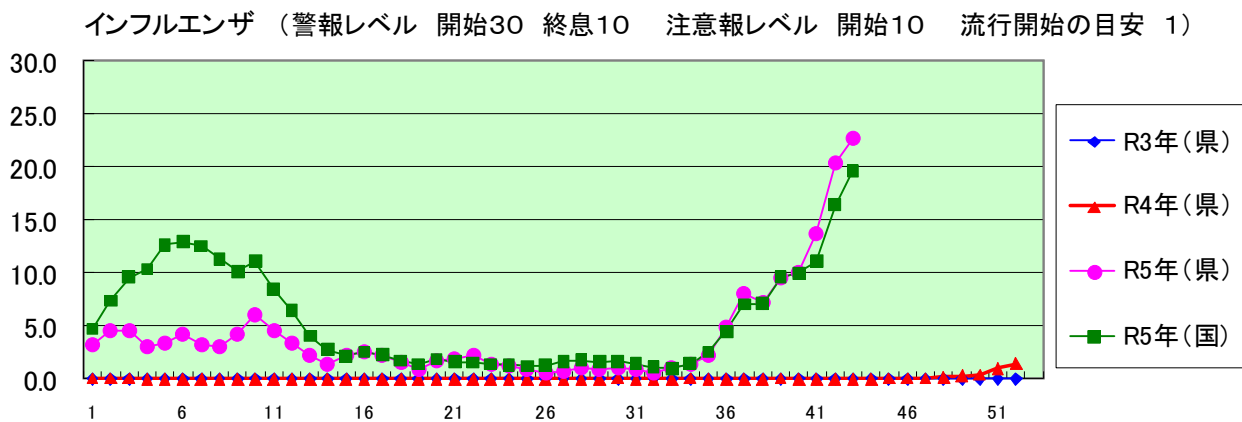
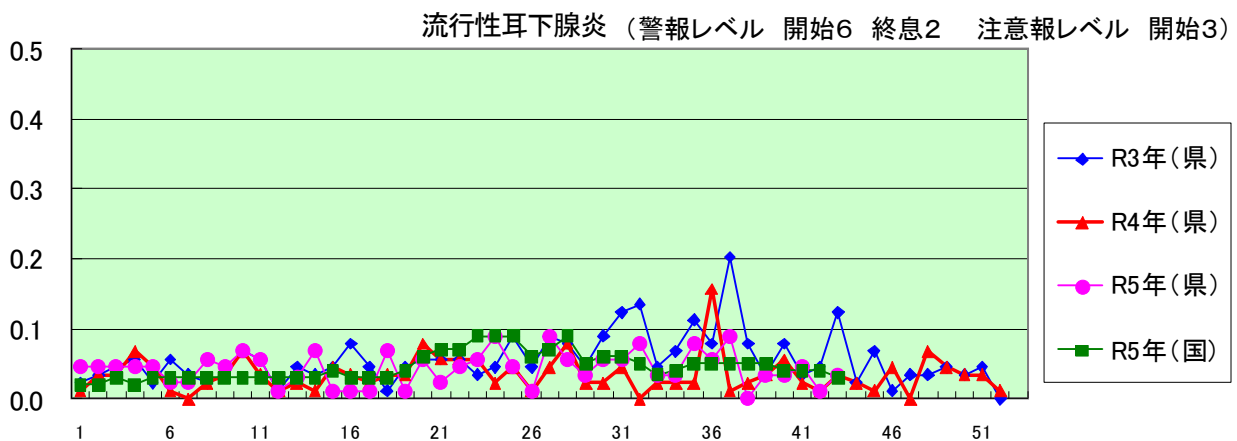
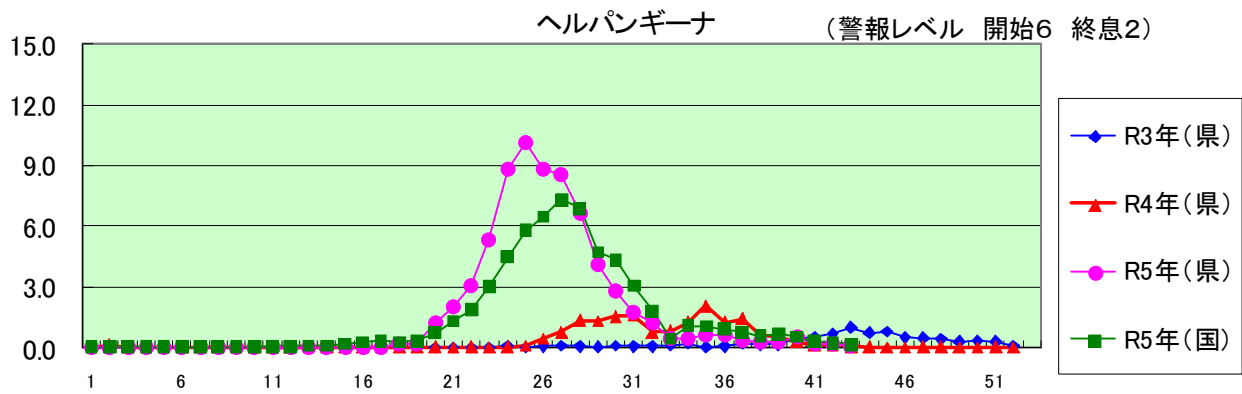
定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

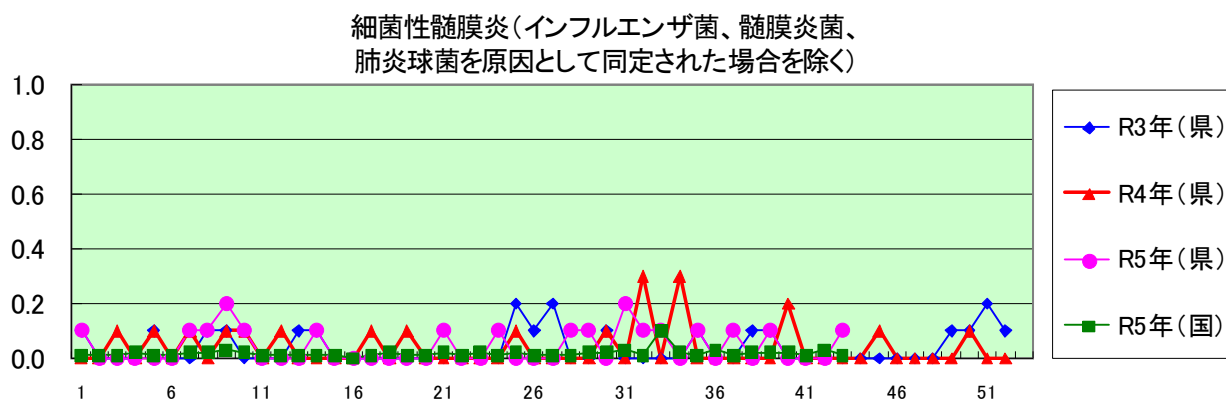
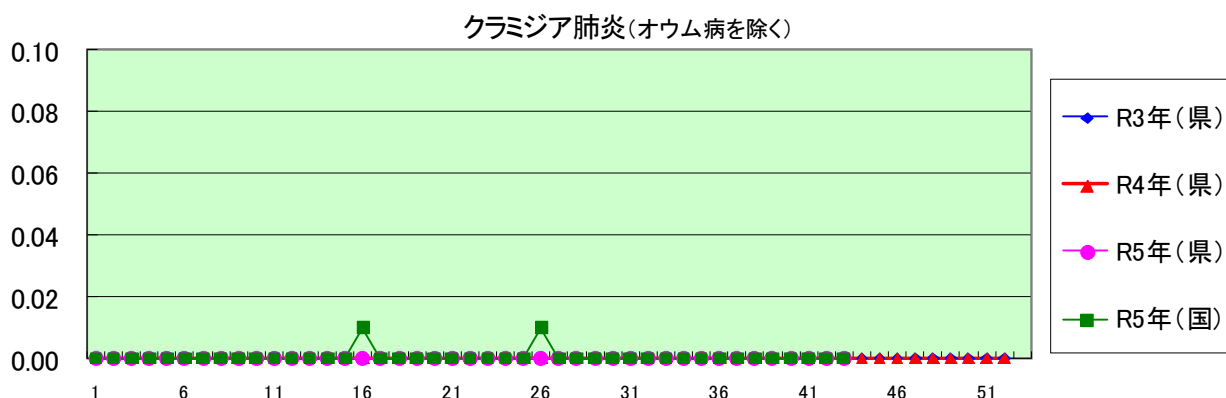
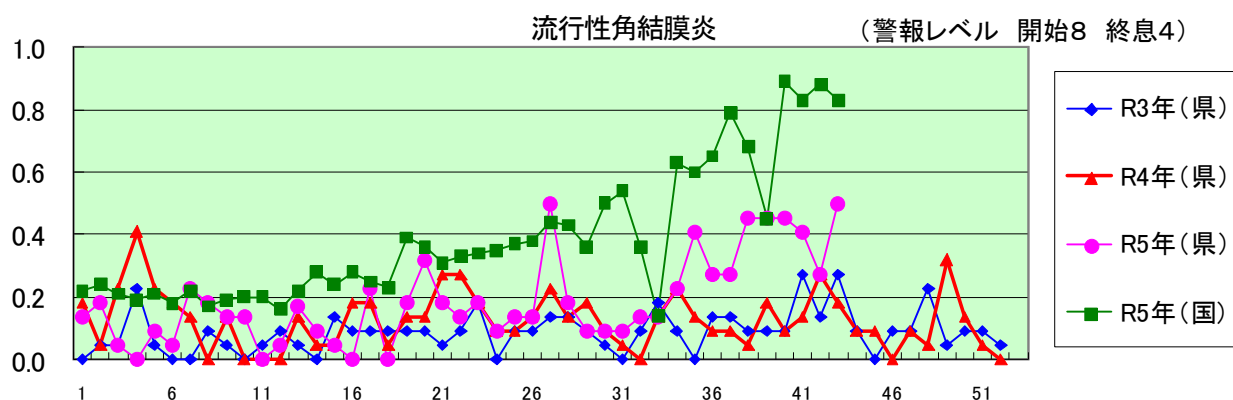
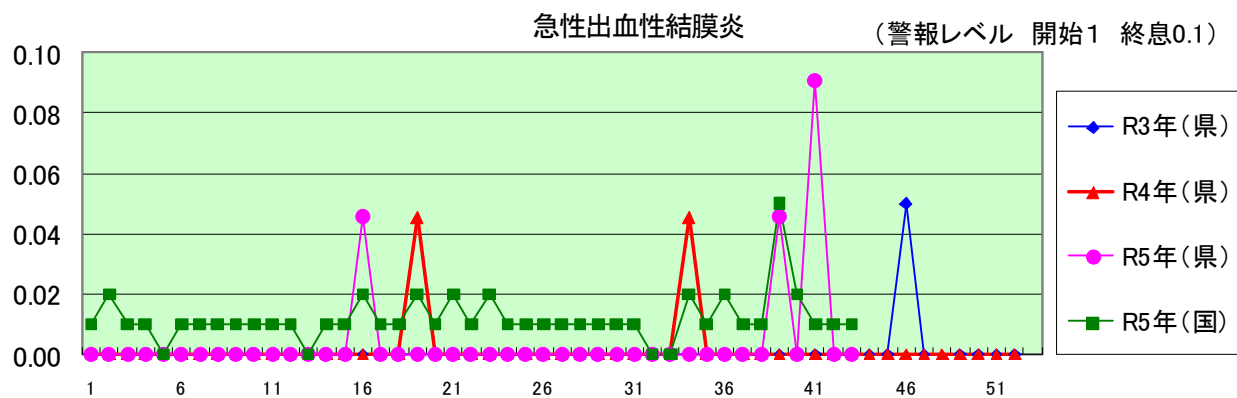
2023年 43 週

年齢階級区分	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計	
〃(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上								
〃(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上			
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上						
RSウイルス感染症	0.01		0.02	0.01			0.01														0.06	
咽頭結膜炎		0.02	0.11	0.19	0.21	0.17	0.20	0.10	0.04	0.01	0.02			0.01	0.01						1.11	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.02	0.06	0.11	0.27	0.28	0.33	0.22	0.24	0.15	0.21		0.03							1.92	
感染性胃腸炎	0.02	0.12	0.42	0.21	0.27	0.35	0.33	0.19	0.09	0.09	0.11	0.37	0.02	0.04							2.64	
水痘	0.01		0.01								0.01	0.03									0.07	
手足口病		0.01	0.12	0.10	0.06	0.03	0.03	0.02		0.02	0.02										0.43	
伝染性紅斑		0.01	0.01		0.02		0.01	0.03													0.09	
突発性発しん		0.08	0.10	0.02	0.01																0.21	
ヘルパンギーナ			0.04	0.01	0.02		0.02			0.01											0.11	
流行性耳下腺炎								0.02				0.01									0.03	
インフルエンザ	0.06	0.05	0.41	0.51	0.59	0.94	1.39	1.47	1.60	1.72	1.31	6.15	2.18	0.72	1.06	1.29	0.47	0.34	0.18	0.21	22.64	
新型コロナウイルス感染症	0.04	0.01	0.07	0.03	0.04	0.06	0.04	0.02	0.02	0.02	0.03	0.27	0.19	0.18	0.25	0.29	0.34	0.21	0.29	0.32	2.73	
急性出血性結膜炎																						
流行性角結膜炎	0.05			0.09			0.05								0.09	0.09		0.09	0.05		0.50	
細菌性髄膜炎																						
無菌性髄膜炎										0.10											0.10	
マイコプラズマ肺炎																						
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																						
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																						

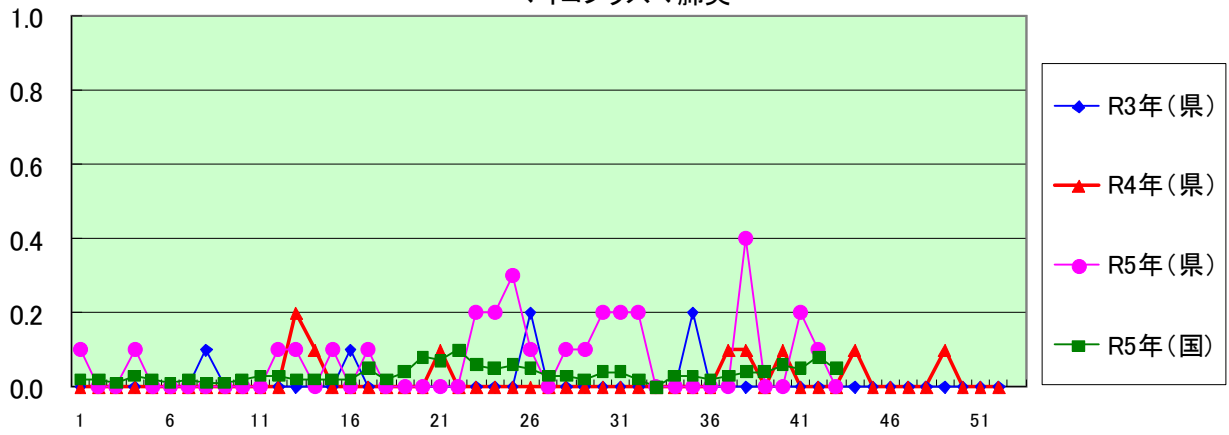




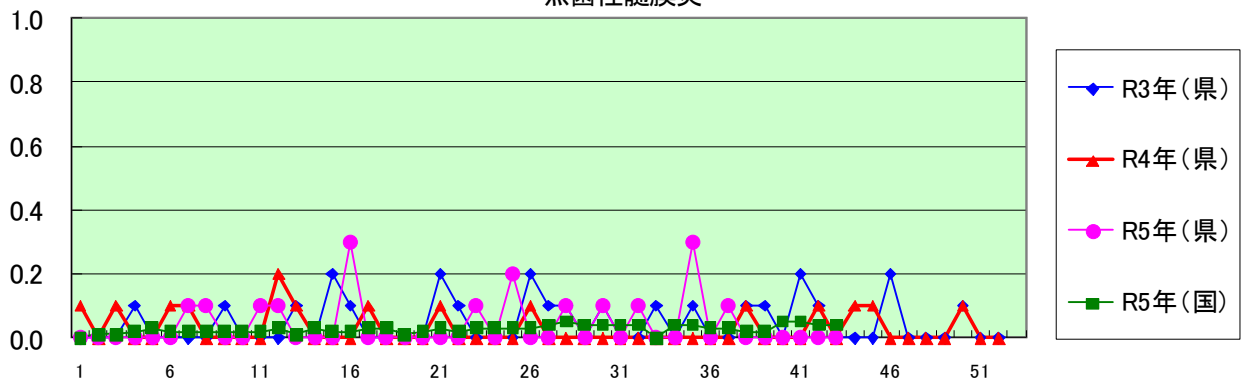




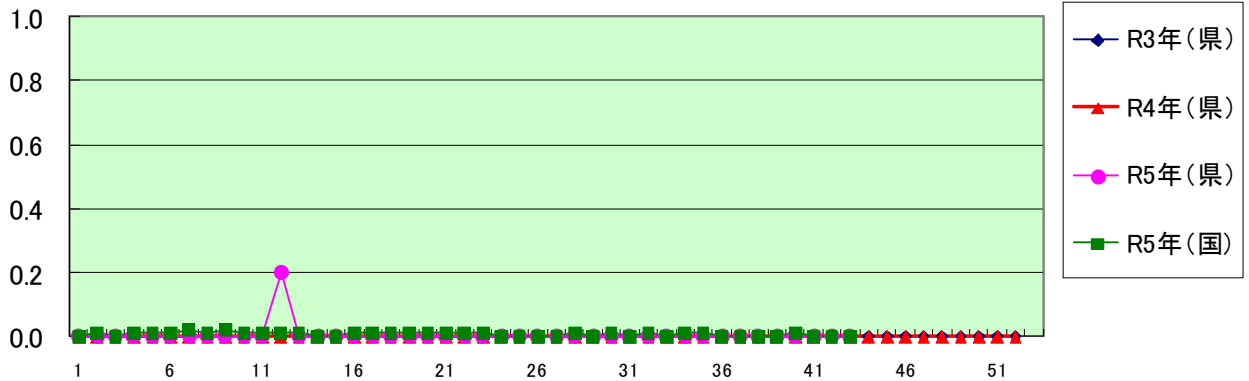
マイコプラズマ肺炎



無菌性髄膜炎



感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2023年 9 月

	静岡県							全国				
	4月	5月	6月	7月	8月	今月	計	6月	7月	8月	今月	計
性器クラミジア感染症	43	44	65	43	63	72	330	2,871	2,623	2,632	2,718	10,844
性器ヘルペスウイルス感染症	18	15	21	12	16	18	100	835	782	821	791	3,229
尖圭コンジローマ	20	12	6	18	17	15	88	610	581	529	482	2,202
淋菌感染症	8	13	25	16	16	20	98	775	789	827	810	3,201
性器クラミジア感染症(男)	13	13	25	12	30	23	116	1,408	1,339	1,375	1,385	5,507
性器クラミジア感染症(女)	30	31	40	31	33	49	214	1,463	1,284	1,257	1,333	5,337
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	7	5	9	7	4	4	36	325	289	300	284	1,198
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	11	10	12	5	12	14	64	510	493	521	507	2,031
尖圭コンジローマ(男)	8	3	1	5	7	10	34	403	378	352	308	1,441
尖圭コンジローマ(女)	12	9	5	13	10	5	54	207	203	177	174	761
淋菌感染症(男)	7	10	15	7	12	12	63	569	593	648	613	2,423
淋菌感染症(女)	1	3	10	9	4	8	35	206	196	179	197	778
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	25	25	23	33	25	21	152	1,213	1,246	1,328	1,290	5,077
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								95	107	99	80	381
薬剤耐性緑膿菌感染症								11	11	8	8	38

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2023年 9 月

	静岡県						全国			
	4月	5月	6月	7月	8月	今月	6月	7月	8月	今月
性器クラミジア感染症	1.43	1.47	2.17	1.43	2.10	2.40	2.91	2.66	2.68	2.78
性器ヘルペスウイルス感染症	0.60	0.50	0.70	0.40	0.53	0.60	0.85	0.79	0.84	0.81
尖圭コンジローマ	0.67	0.40	0.20	0.60	0.57	0.50	0.62	0.59	0.54	0.49
淋菌感染症	0.27	0.43	0.83	0.53	0.53	0.67	0.79	0.80	0.84	0.83
性器クラミジア感染症(男)	0.43	0.43	0.83	0.40	1.00	0.77	1.43	1.36	1.40	1.42
性器クラミジア感染症(女)	1.00	1.03	1.33	1.03	1.10	1.63	1.48	1.30	1.28	1.37
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.23	0.17	0.30	0.23	0.13	0.13	0.33	0.29	0.31	0.29
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.37	0.33	0.40	0.17	0.40	0.47	0.52	0.50	0.53	0.52
尖圭コンジローマ(男)	0.27	0.10	0.03	0.17	0.23	0.33	0.41	0.38	0.36	0.32
尖圭コンジローマ(女)	0.40	0.30	0.17	0.43	0.33	0.17	0.21	0.21	0.18	0.18
淋菌感染症(男)	0.23	0.33	0.50	0.37	0.40	0.40	0.58	0.60	0.66	0.63
淋菌感染症(女)	0.03	0.10	0.33	0.30	0.13	0.27	0.21	0.20	0.18	0.20
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.50	2.50	2.30	3.30	2.50	2.10	2.55	2.61	2.79	2.69
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							0.20	0.22	0.21	0.17
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.02	0.02	0.02	0.02

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2023年 9 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	72	2.40	18	0.60	15	0.50	20	0.67
賀茂								
熱海	1	1.00	1	1.00	1	1.00	2	2.00
東部	6	1.20	1	0.20	1	0.20	1	0.20
御殿場	3	3.00	2	2.00			1	1.00
富士	9	3.00	5	1.67	2	0.67	6	2.00
静岡市	19	3.17	7	1.17	7	1.17	3	0.50
中部	10	2.50	2	0.50	1	0.25	3	0.75
西部	20	4.00			1	0.20	1	0.20
浜松市	4	0.80			2	0.40	3	0.60

保健所名	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	21	2.10	0		0	
賀茂	1	1.00				
熱海	3	3.00				
東部						
御殿場						
富士						
静岡市	15	7.50				
中部						
西部	2	2.00				
浜松市						

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

2023年 9 月

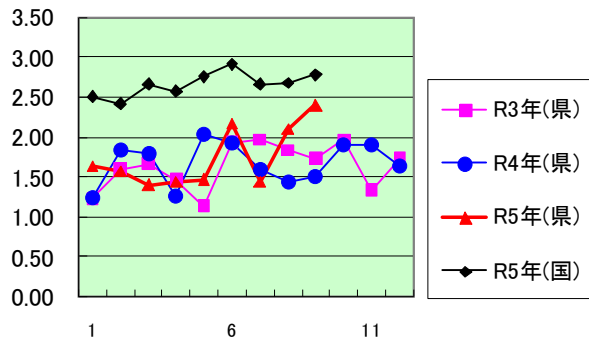
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					11	25	12	8	7	1	4	2	2				72
性器ヘルペスウイルス感染症						3	5	2	1	2	1		2		2		18
尖圭コンジローマ					1		3	1	1	3	1	3	1			1	15
淋菌感染症					1	6	4	2	1		4	1				1	20
性器クラミジア感染症(男)					2	6	6	3	2		2	1	1				23
性器クラミジア感染症(女)					9	19	6	5	5	1	2	1	1				49
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							2	1			1						4
性器ヘルペスウイルス感染症(女)						3	3	1	1	2			2			2	14
尖圭コンジローマ(男)							1	1	1	2	1	3				1	10
尖圭コンジローマ(女)					1		2			1			1				5
淋菌感染症(男)					1	1	4	2			3					1	12
淋菌感染症(女)						5			1		1	1					8
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症						1			1						1	18	21
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

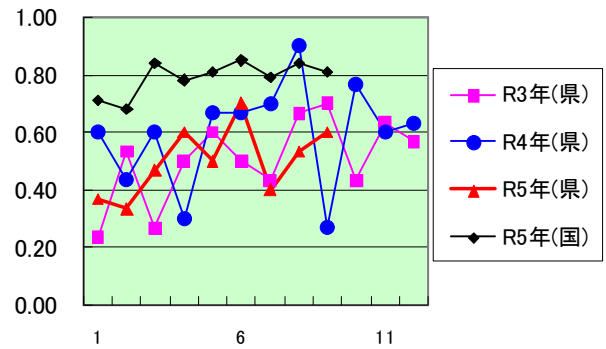
2023年 9 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計	
性器クラミジア感染症					0.37	0.83	0.40	0.27	0.23	0.03	0.13	0.07	0.07				2.40	
性器ヘルペスウイルス感染症						0.10	0.17	0.07	0.03	0.07	0.03		0.07		0.07		0.60	
尖圭コンジローマ					0.03		0.10	0.03	0.03	0.10	0.03	0.10	0.03			0.03	0.50	
淋菌感染症					0.03	0.20	0.13	0.07	0.03		0.13	0.03				0.03	0.67	
性器クラミジア感染症(男)					0.07	0.20	0.20	0.10	0.07		0.07	0.03	0.03				0.77	
性器クラミジア感染症(女)					0.30	0.63	0.20	0.17	0.17	0.03	0.07	0.03	0.03				1.63	
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							0.07	0.03			0.03						0.13	
性器ヘルペスウイルス感染症(女)						0.10	0.10	0.03	0.03	0.07			0.07			0.07	0.47	
尖圭コンジローマ(男)							0.03	0.03	0.03	0.07	0.03	0.10				0.03	0.33	
尖圭コンジローマ(女)					0.03		0.07			0.03			0.03				0.17	
淋菌感染症(男)					0.03	0.03	0.13	0.07			0.10					0.03	0.40	
淋菌感染症(女)						0.17			0.03		0.03	0.03					0.27	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症						0.10			0.10							0.10	1.80	2.10
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																		
薬剤耐性緑膿菌感染症																		

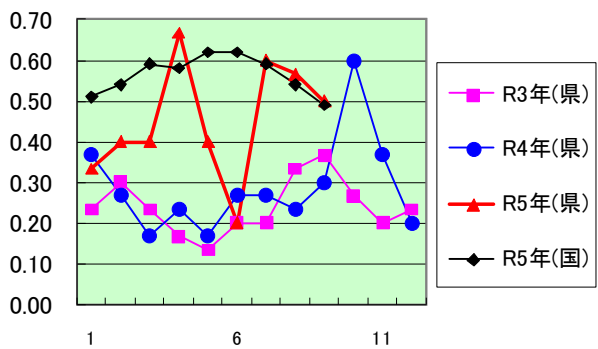
性器クラミジア感染症



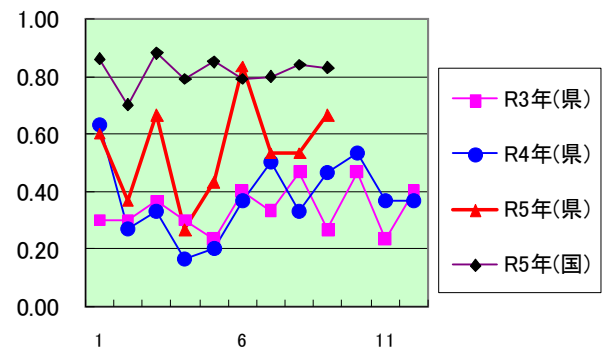
性器ヘルペスウイルス感染症



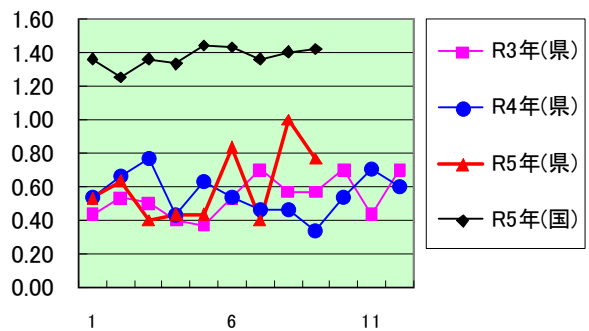
尖圭コンジローマ



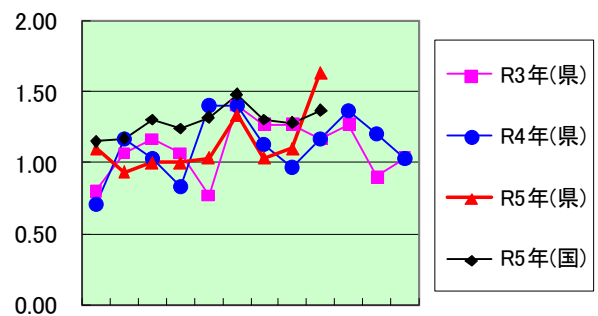
淋菌感染症



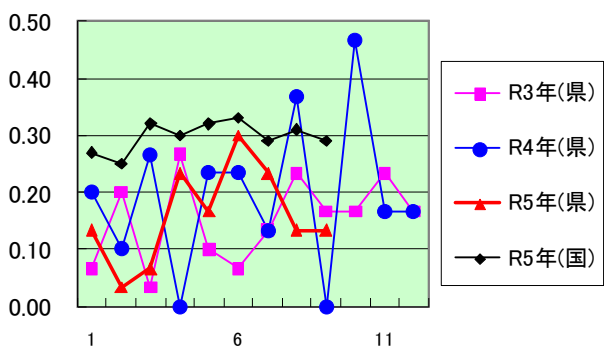
性器クラミジア感染症(男)



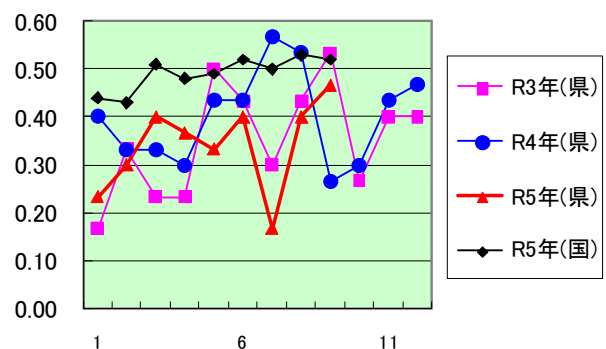
性器クラミジア感染症(女)



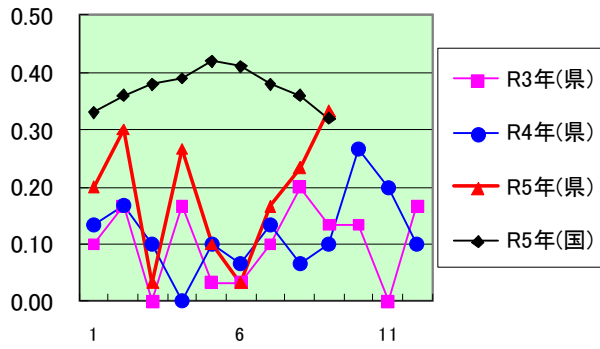
性器ヘルペスウイルス感染症(男)



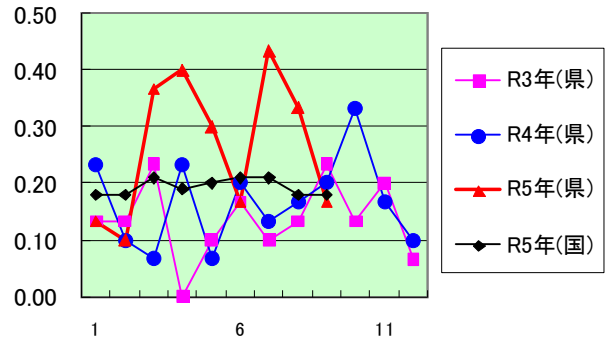
性器ヘルペスウイルス感染症(女)



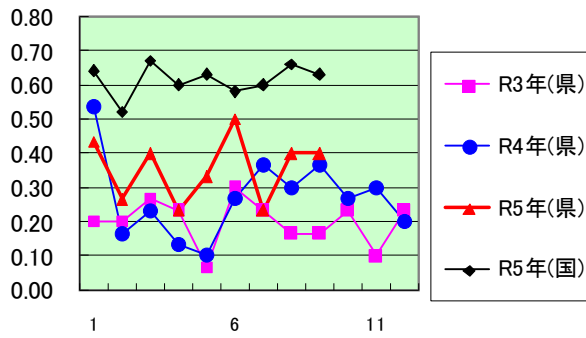
尖圭コンジローマ(男)



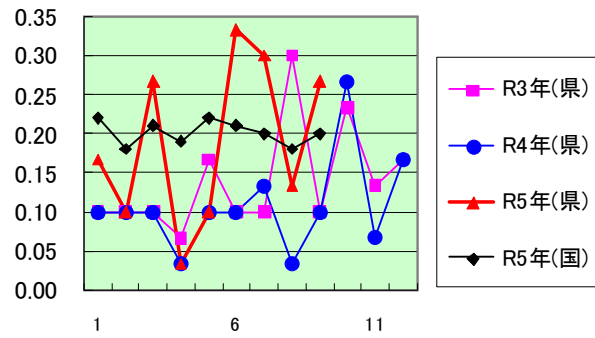
尖圭コンジローマ(女)



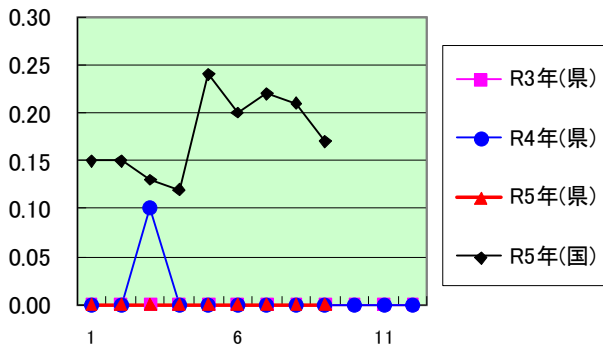
淋菌感染症(男)



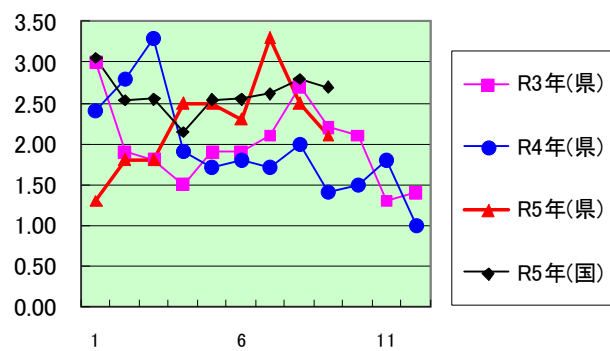
淋菌感染症(女)



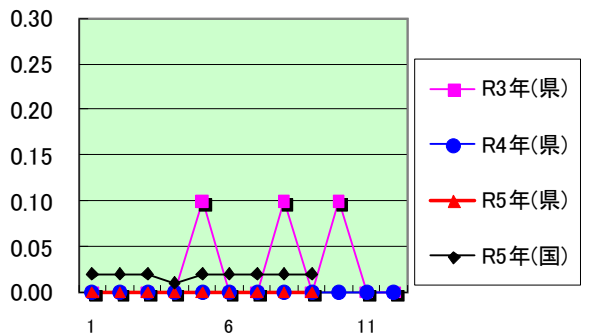
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

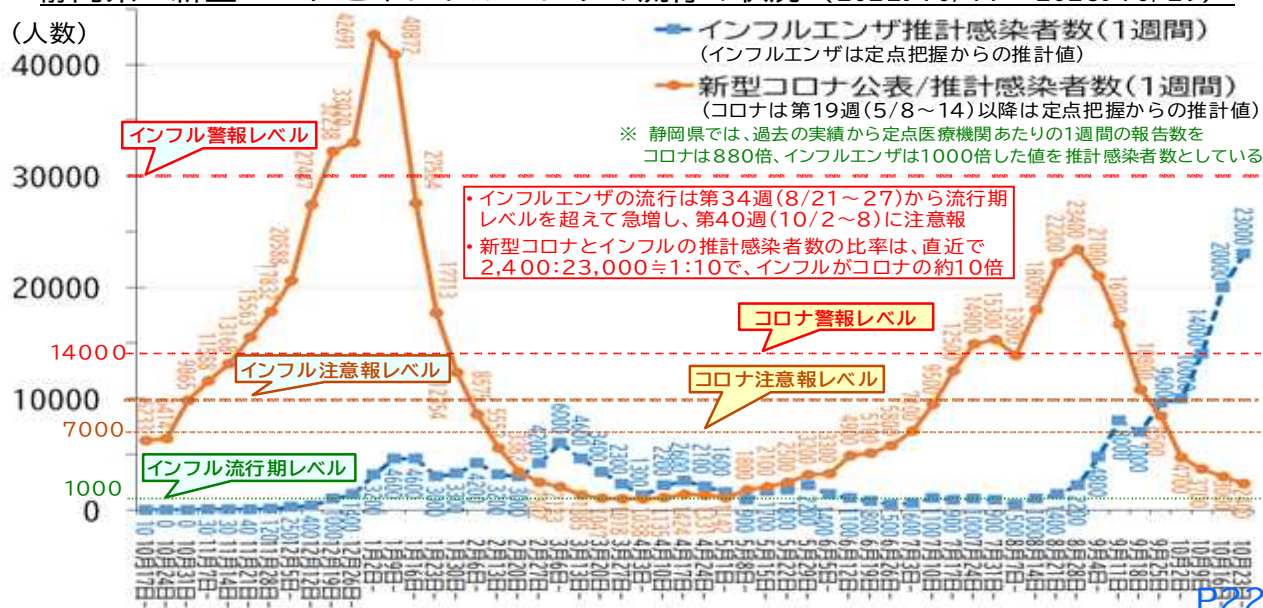


薬剤耐性緑膿菌感染症

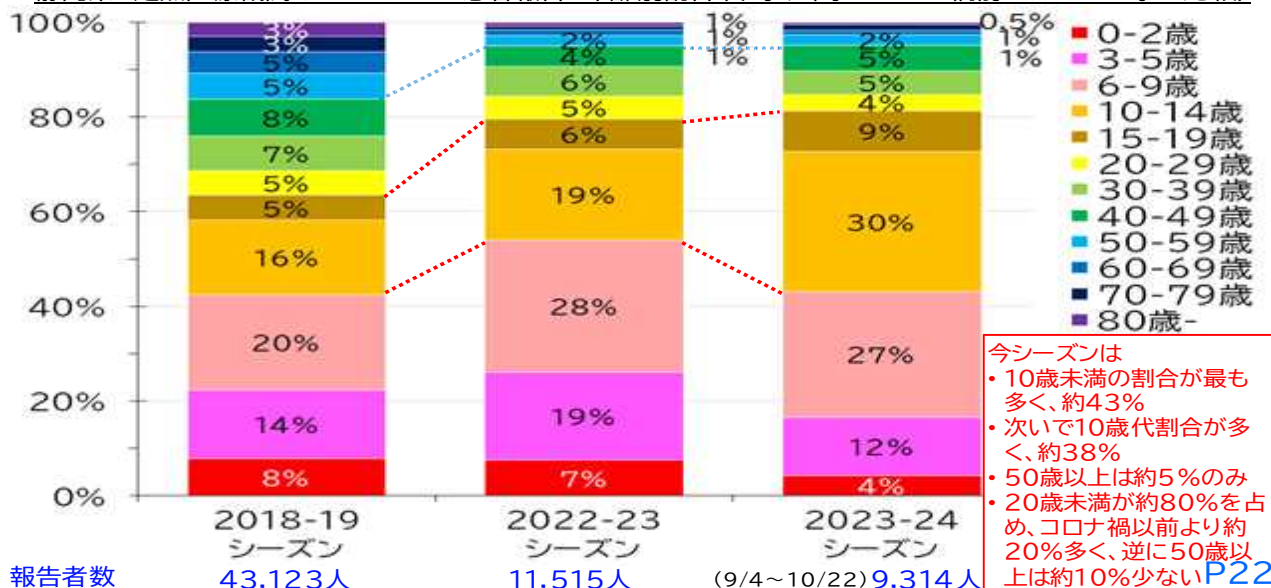


定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

静岡県 新型コロナとインフルエンザの流行の状況 (2022.10/17~2023.10/29)



静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 年齢別割合(今季、昨季とコロナ禍前2018-19季の比較)



インフルエンザワクチン接種

- ・対象者は生後6か月以上です
- ・現在流行のA型2種の他にB型2種の計4種のインフルに対応
- ・インフルエンザによる重症化や入院リスクを下げるため
早めの接種の検討を!

<インフルエンザ拡大防止のために県民の皆様へ>

ワクチンの接種について

- ・ インフルエンザによって高齢者や基礎疾患のある方は、重症化することがあり、乳幼児ではまれにインフルエンザ脳症を起こすことがあります。ワクチン接種により、死亡や入院の危険が減少するとされています。
- ・ 今シーズンのインフルエンザワクチンの供給量は、昨シーズンの使用量を超える供給量となります。
- ・ **65歳以上等の定期接種対象者で接種を希望する方は、お早めの接種をお願いします。**
- ・ **定期接種対象者以外でも、特に、基礎疾患のある方や、乳幼児、以前インフルエンザにかかってつらかった方は接種の御検討をお願いします。**

(インフルエンザワクチンの接種によって、インフルエンザの重症化を予防する効果や発症をある程度抑える効果が期待できる一方、接種時の体調によっては副反応などが生じる場合もありますので、かかりつけ医などと相談しつつ、接種を検討いただくようお願いいたします。)

- ・ なお、インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンは同時に接種できます。

「うつらない」・「うつさない」ための取組の徹底

- ・ 体調が悪い場合は、人が集まるイベントに参加することは控えましょう。
- ・ 人混みでは、**咳エチケット**（咳やくしゃみが出るときは、マスクを着用するか、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い顔を他の人に向けない）を励行しましょう
- ・ インフルエンザと診断されたら医師の指示を守って服薬し、外出を控えるとともに、家庭内でも咳エチケットを徹底し、十分な休養をとりましょう
- ・ 人が集まる室内では、十分に換気をしましょう
- ・ こまめに手洗いをしましょう
- ・ なるべく密を避けましょう
- ・ 十分な栄養と睡眠をとり、健康管理につとめましょう

提供日 2023/10/30
タイトル 蚊に刺されないように注意しましょう！（「日本脳炎」の患者発生について）
担当 健康福祉部 感染症対策局感染症対策課
連絡先 ふじのくに感染症管理センター
TEL 055-928-7272



—危機管理情報—
蚊に刺されないように注意しましょう！
～県内で7年ぶりの「日本脳炎」患者が確認されました～

1 要旨

発熱、意識障害により、県内の医療機関に8月から入院している県内在住の高齢者について、抗体検査の結果、日本脳炎に感染していることが判明しました。

患者は、発症前の期間に県外へは移動しておらず、県内で蚊に刺されたことにより感染したと推定されます。県内で日本脳炎の患者が確認されたのは、2016年10月以来7年ぶりです。

報道機関各位におかれましては、感染症法の基本理念である感染者の人権尊重のため、患者及び患者家族等について、本人等が特定されることのないよう、格段の御配慮をお願いいたします。

2 日本脳炎について

（1）症状等

感染しても、発症するのは100人～1,000人に1人とされており、多くは無症状で終わります。しかし、発症する場合、潜伏期は6～16日間とされ、数日間の高熱、頭痛、嘔吐等で発症し、続いて、意識障害等の神経症状が見られます。発症者の死亡率は20～40%で、小児や高齢者で死亡の危険性が高くなります。また、生存者の45～70%に精神神経学的後遺症が残るとされています。

（2）感染経路

日本脳炎ウイルスは、豚の体内で増え、ウイルスを保有する豚から吸血した蚊（コガタアカイエカ）がヒトを刺すことで感染します。ヒトからヒトへは感染しません。

コガタアカイエカは水田、沼地で主に発生し、日没後に活動が活発になります。県では、豚の日本脳炎抗体保有状況を調査しており、令和5年度に調査した豚80頭のうち19頭（23.8%）に日本脳炎の抗体が認められており、8月下旬以降の検査では、40頭中19頭（47.5%）に抗体が認められています。

(3) 治療

特異的な根治療法はなく、対症療法を行います。

(4) 予防

蚊の対策と、予防接種が予防の中心となります。

3 日本脳炎の最近の患者数(人) 令和5年は現時点の暫定値

年	平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
全国	11	3	0	9	5	3	5	4
静岡県	1	0	0	0	0	0	0	1

4 県民の皆様へ

(1) 蚊に刺されないようにしましょう

- ・屋外で活動する際には、長袖・長ズボンを着用する、素足やサンダルを避けるなど、肌の露出を少なくしましょう。
- ・虫よけ剤を使用しましょう。虫よけ剤は効果のある時間が限られていますので、長時間、屋外で活動する際には、こまめに使用しましょう。
- ・蚊が室内に入らないように、ドアや窓の開け閉めを減らし、網戸を使用しましょう。

(2) 日本脳炎の予防接種を受けましょう

- ・日本脳炎の予防接種は小児の定期接種として受けることができます。接種対象者は、来年の蚊が発生するシーズンまでに、お早めの接種を御検討ください。定期接種に関する詳細は、各市町に御確認ください。

(3) 蚊の発生を抑えましょう

- ・蚊は、タイヤに溜まった水、鉢植えの皿など、少しの水が溜まる場所で発生します。屋外に雨水等が長時間溜まる物を置かないようにしましょう。
- ・室内の花瓶の水などは、最低週1回は換えましょう。

(4) 蚊が媒介する感染症の流行国への渡航について

- ・海外の流行地へ渡航する際には蚊に刺されないよう十分に気を付け、帰国後、発熱などの症状がある場合には、医療機関を受診してください。
- ・妊婦及び妊娠を希望予定の方はジカウイルス感染症の流行国・地域への渡航及び滞在は可能な限りお控えください。

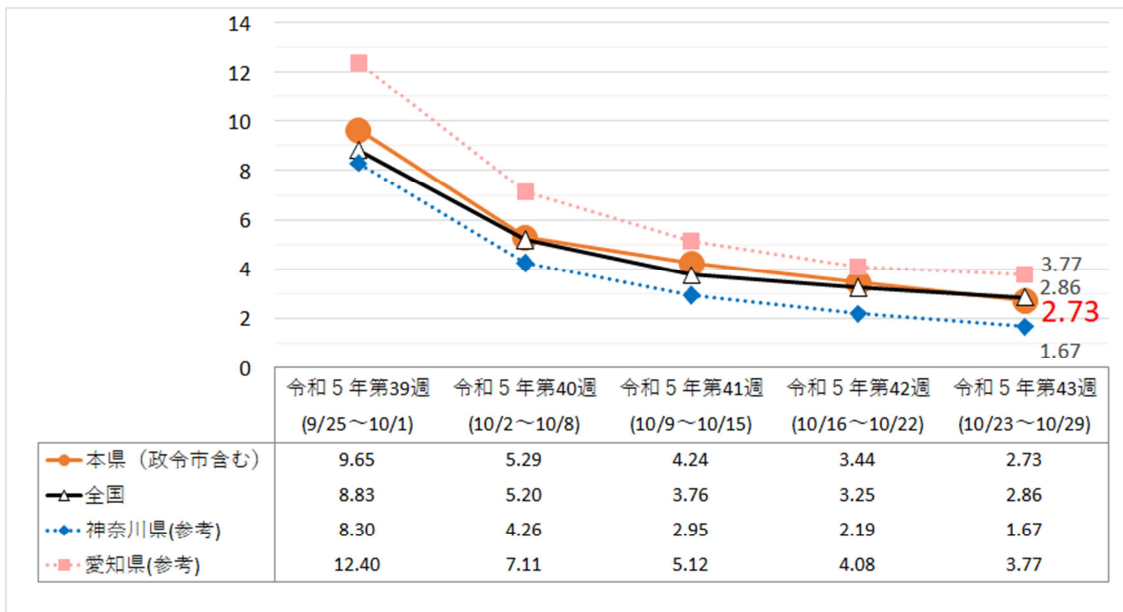
新型コロナウイルス感染症について

令和5年第43週（令和5年10月23日～10月29日）

★令和5年第43週の感染状況について

- ・県全体の定点医療機関当たり患者数は2.73人/週で、前週(3.44人/週)に比べて減少しています。
- ・この1週間の定点医療機関から報告された患者数は379人で、前週(478人)に比べて0.79倍です。
- ・この1週間の全感染者数は、約2,400人(1日平均約300人)と推計されます。
- ・感染拡大注意報レベル以上の地域、保健所はありません。

1 定点医療機関当たり患者数（単位：人/週）



全国及び隣接する神奈川県、愛知県も表示します。

2 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜令和5年第43週＞

保健所ごとに定点医療機関1か所当たりの人口や年齢構成などが異なるため、保健所間で数値の単純比較はできません。

保健所名	各保健所の 管轄市町名	定点医療 機関数 (A)	定点医療機関 の患者数 (B)	定点医療機関 当たりの患者数 (B/A)	県独自の 注意報 レベル※	県独自の 警報 レベル※	
県東部地域	賀茂	下田市、東伊豆町、河津町、 南伊豆町、松崎町、西伊豆町	3	7	2.33	13以上	26以上
	熱海	熱海市、伊東市	6	31	5.17	9以上	18以上
	東部	沼津市、三島市、裾野市、 伊豆市、伊豆の国市、函南町、 清水町、長泉町	20	46	2.30	8以上	16以上
	御殿場	御殿場市、小山町	6	62	10.33	17以上	34以上
	富士	富士市、富士宮市	15	46	3.07	11以上	22以上
県東部地域		50	192	3.84	10以上	20以上	
県中部地域	静岡市	静岡市	25	56	2.24	6以上	12以上
	中部	島田市、焼津市、藤枝市、 牧之原市、吉田町、川根本町	17	27	1.59	8以上	16以上
	県中部地域		42	83	1.98	7以上	14以上
県西部地域	西部	磐田市、掛川市、袋井市、 御前崎市、菊川市、湖西市、森町	19	58	3.05	10以上	20以上
	浜松市	浜松市	28	46	1.64	7以上	14以上
	県西部地域		47	104	2.21	8以上	16以上
県全体		139	379	2.73	8以上	16以上	

※県独自の注意報レベル：令和4年10月以降の第8波の新規感染者数の推移から、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を、暫定的に県独自の注意報レベルとして設定しています。（例えば、賀茂保健所の定点医療機関当たり患者数は13以上で注意報レベルということになります）

※県独自の警報レベル：1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり400人以上となった水準を、暫定的に県独自の警報レベルとして設定しています。

3 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜5週間の推移＞

保健所名	第39週 (9/25~10/1)	第40週 (10/2~10/8)	第41週 (10/9~10/15)	第42週 (10/16~10/22)	第43週 (10/23~10/29)	前週比推移	
県東部地域	賀茂	7.00	6.67	2.00	0.67	2.33	↓ ↓ ↓ ↑
	熱海	12.67	6.67	7.33	5.50	5.17	↓ ↑ ↓ ↓
	東部	6.80	2.95	3.90	2.65	2.30	↓ ↑ ↓ ↓
	御殿場	29.00	16.17	9.67	11.83	10.33	↓ ↓ ↑ ↓
	富士	9.20	6.67	4.47	2.93	3.07	↓ ↓ ↓ ↑
県東部地域		10.90	6.32	5.06	4.06	3.84	↓ ↓ ↓ ↓
県中部地域	静岡市	6.48	3.24	2.36	1.56	2.24	↓ ↓ ↓ ↑
	中部	9.18	4.76	4.18	4.65	1.59	↓ ↓ ↑ ↓
	県中部地域		7.57	3.86	3.10	2.81	1.98
県西部地域	西部	12.89	7.16	6.21	4.53	3.05	↓ ↓ ↓ ↓
	浜松市	8.32	4.32	3.14	2.54	1.64	↓ ↓ ↓ ↓
	県西部地域		10.17	5.47	4.38	3.34	2.21
県全体		9.65	5.29	4.24	3.44	2.73	↓ ↓ ↓ ↓

4 感染拡大注意報・警報

注意報レベル：感染者が急増するおそれがある状況

警報レベル：感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況

感染拡大注意報レベル以上の地域、保健所はありません。

(1) 県全体の状況

県全体	
8	16
2.73	
—	

【凡例】

保健所名	
保健所管轄市町名	
注意報の 基準値	警報の 基準値
定点当たり患者数	
現在の状況	

(2) 地域別の状況

県東部地域		県中部地域		県西部地域	
10	20	7	14	8	16
3.84		1.98		2.21	
—		—		—	

(3) 保健所別の状況

賀茂保健所	熱海保健所	東部保健所	御殿場保健所	富士保健所
下田市, 東伊豆町, 河津町, 南伊豆町, 松崎町, 西伊豆町	熱海市, 伊東市	沼津市, 三島市, 裾野市, 伊豆市, 伊豆の国市, 函南町, 清水町, 長泉町	御殿場市, 小山町	富士市, 富士宮市
13	9	8	17	11
26	18	16	34	22
2.33	5.17	2.30	10.33	3.07
—	—	—	—	—

静岡市保健所	中部保健所	西部保健所	浜松市保健所
静岡市	島田市, 焼津市, 藤枝市, 牧之原市, 吉田町, 川根本町	磐田市, 掛川市, 袋井市, 御前崎市, 菊川市, 湖西市, 森町	浜松市
6	8	10	7
12	16	20	14
2.24	1.59	3.05	1.64
—	—	—	—

<県民の皆様へ>

新型コロナ患者は減少傾向ですが、インフルエンザ患者は増加が続いています。引き続き、以下の点に御留意ください。

- ① 医療機関や高齢者施設の受診や訪問時は、できるだけマスクを着用
- ② 症状（咳・熱・のど痛）が出た時は、学校や仕事を休んで療養を
- ③ 人が集まる所では、十分な換気・できるだけマスク着用・手洗い励行
- ④ 重症化等のリスクを下げるため、新型コロナやインフルのワクチン接種を検討

なお、近くに人がいないときや屋外では、マスクは不要です。

5 感染者全数の推計値

保健所名		定点医療機関の患者数 (A)	管内の定点割合 (B)※1	管内の感染者全数の推計値 (A/B) ※2
	賀茂	7	0.335	-
	熱海	31	0.268	-
	東部	46	0.150	-
	御殿場	62	0.505	-
	富士	46	0.215	-
県東部地域		192	0.221	869
	静岡市	56	0.109	-
	中部	27	0.154	-
	県中部地域	83	0.125	664
	西部	58	0.166	-
	浜松市	46	0.117	-
	県西部地域	104	0.134	776
県全体		379	0.158	2399

※1 定点割合

令和4年10月3日から令和5年5月7日までに定点医療機関から報告のあった患者数を、この期間の全感染者数で割った値。例えば県全体では、この期間の定点医療機関からの報告数は、全感染者数の15.8% (0.158) でした。

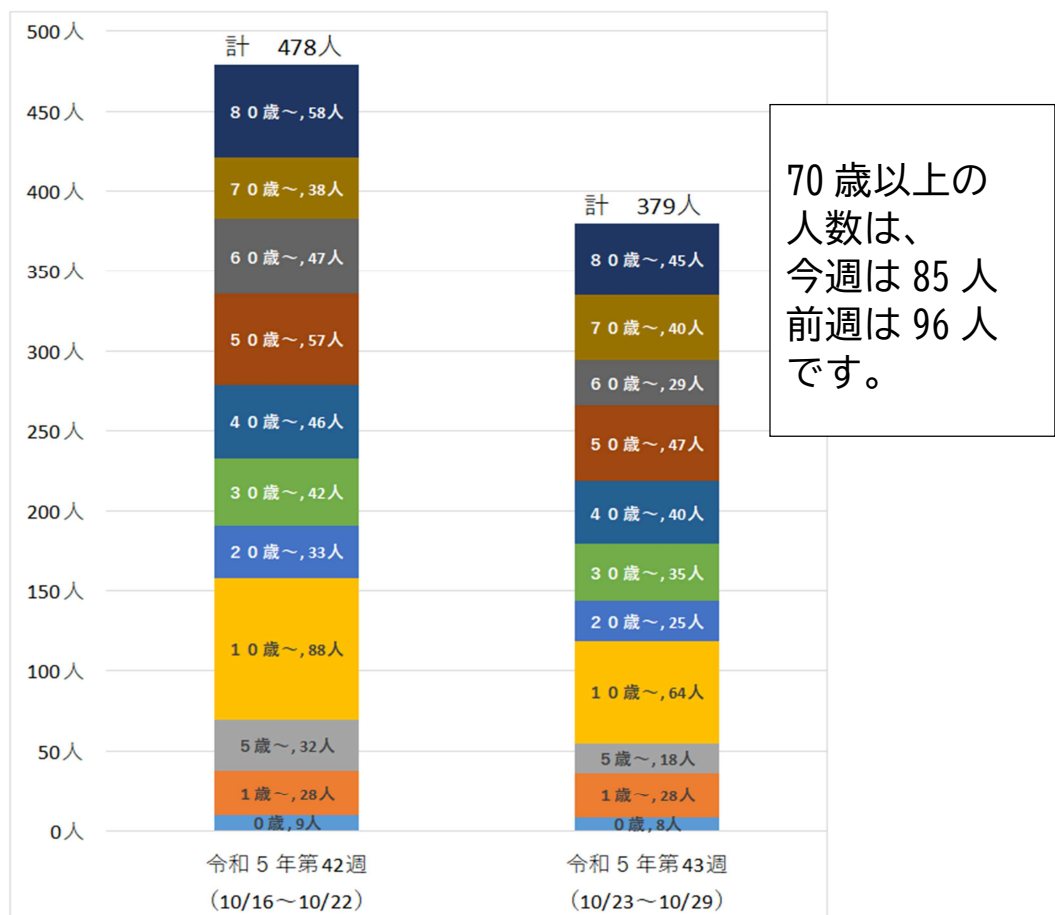
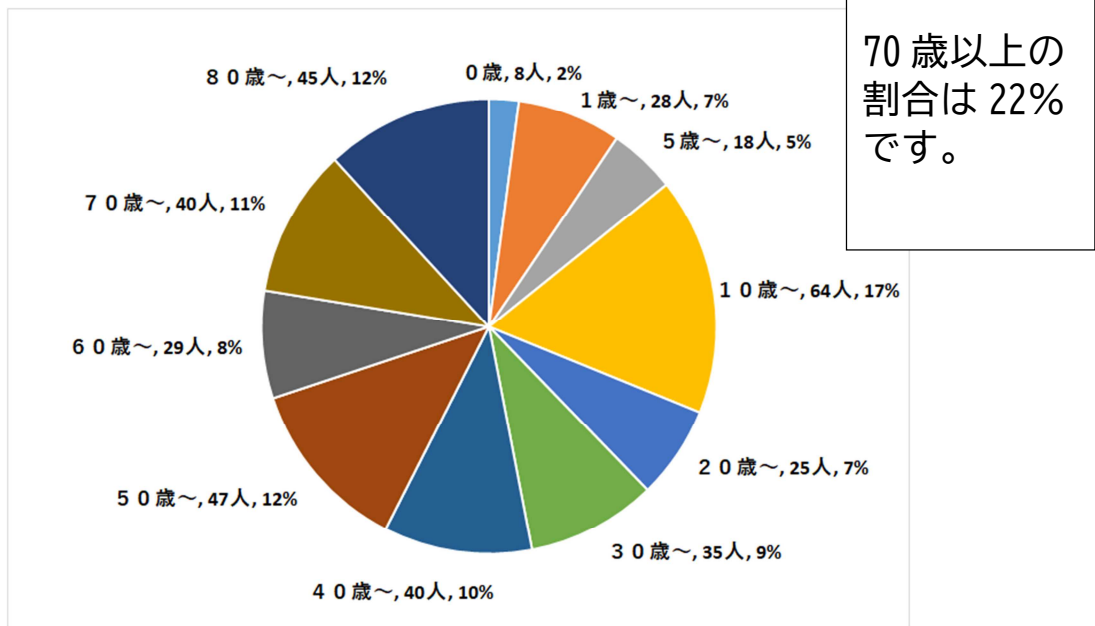
※2 推計値の算出方法

感染者全数の推計値は、定点医療機関の患者数を定点割合で除して算出しており (A÷B)、県全体の感染者数の全数は、 $379 \div 0.158 = 2,399$ 人と推計されます。各地域ごとに異なる定点割合で推計値を算出しているため、県東部地域、県中部地域、県西部地域の推計値の総和は必ずしも県全体の推計値と同じ値にはなりません。なお、人口が少ない地域は定点医療機関が少なく、算出される推計値は統計的に信頼性が低くなるため、各保健所ごとの推計値は示していません。

6 定点医療機関の年齢階級別患者数

0歳	1歳～	5歳～	10歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～
8人	28人	18人	64人	25人	35人	40人	47人

60歳～	70歳～	80歳～	不明	合計
29人	40人	45人	0人	379人



7 令和5年9月20日以降（令和5年秋開始接種） 3～7回目接種の実績

集計期間	全年代				65歳以上			
	静岡県			(参考)全国	静岡県			(参考)全国
	接種者数	接種者数累計	接種率	接種率	接種者数	接種者数累計	接種率	接種率
令和5年第39週 (9/25～10/1)	58,750	77,520	2.13%	1.86%	43,851	58,070	5.26%	4.93%
令和5年第40週 (10/2～10/8)	71,295	148,815	4.10%	3.87%	54,712	112,782	10.23%	10.24%
令和5年第41週 (10/9～10/15)	63,720	212,535	5.85%	5.81%	49,236	162,018	14.69%	15.19%
令和5年第42週 (10/16～10/22)	80,919	293,454	8.08%	8.08%	60,585	222,603	20.18%	20.92%
令和5年第43週 (10/23～10/29)	77,844	371,298	10.22%	10.30%	55,167	277,770	25.18%	26.37%

令和5年秋開始接種の概要

○接種時期 令和5年9月20日開始

○接種対象者 2回以上の接種を完了した者

- ・高齢者(65歳以上)及び基礎疾患のある者(接種の努力義務あり)
- ・上記以外の者であって生後6か月以上のもの(接種の努力義務なし)

○使用ワクチン 以下のいずれかを1回のみ接種可

- ・オミクロン株XBB.1.5対応1価ワクチン(ファイザー社及びモデルナ社) 前回接種から3か月以上経過
- ・武田社ワクチン(ノババックス) 前回接種から6か月以上経過

変異株に関する項目については、4月3日(月)分から当面の間、2週間ごとに集計しています。(本日は、10月16日(月)～10月29日(日)分の集計)

8-1 変異株ゲノム解析結果について(政令市除く)

10月上旬～10月中旬に発症した方について、国立遺伝学研究所(三島市)において実施したゲノム解析の結果は、以下のとおりです。(県所管分)

(結果判明日:10月17日(火)及び10月23日(月))

<変異株の件数>

保健所	賀茂	熱海	東部	御殿場	富士	中部	西部	合計
デルタ株	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株	0	0	2	0	0	0	6	8
	(内BA.2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	(内BA.5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(内組換体)	(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(6)	(8)

8-2 本県の変異株の判明状況（10月29日時点）

		合計	県	静岡市	浜松市
合計 (デルタ株+オミクロン株)	判明者数	10,530	5,973	2,354	2,203
	(前回からの増加数)	(23)	(8)	(2)	(13)
デルタ株 (R3.5.16~)	判明者数	2,411	1,256	648	507
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
オミクロン株 (R4.1.1~)	判明者数	8,119	4,717	1,706	1,696
	(前回からの増加数)	(23)	(8)	(2)	(13)
※オミクロン株 【内、BA.2】	判明者数	1,430	667	432	331
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、BA.5】	判明者数	3,515	2,399	831	285
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、組換体】	判明者数	700	410	93	197
	(前回からの増加数)	(23)	(8)	(2)	(13)

※県：国立遺伝学研究所および国立感染症研究所でゲノム解析を実施

静岡市：国立感染症研究所でゲノム解析を実施

浜松市：浜松市保健環境研究所でゲノム解析を実施

8-3 本県の変異株（オミクロン株）の判明状況（10月29日時点）

	オミクロン株判明数				全オミクロン株に占める割合		
	合計	内、BA.2	内、BA.5	内、組換体	BA.2	BA.5	組換体
7月24日(月)～ 8月6日(日)	61	0	2	59	0.0%	3.3%	96.7%
8月7日(月)～ 8月20日(日)	115	2	1	112	1.7%	0.9%	97.4%
8月21日(月)～ 9月3日(日)	113	4	1	108	3.5%	0.9%	95.6%
9月4日(月)～ 9月17日(日)	75	0	2	73	0.0%	2.7%	97.3%
9月18日(月)～ 10月1日(日)	131	1	2	128	0.8%	1.5%	97.7%
10月2日(月)～ 10月15日(日)	57	1	1	55	1.8%	1.8%	96.5%
10月16日(月)～ 10月29日(日)	23	0	0	23	0.0%	0.0%	100.0%

8-4 ゲノム解析結果の系統別判明数（政令市含む） （10月16日～10月29日判明分）

系統名※	判明数	割合
BA. 2. 75	0	0. 0%
BS. 1	0	0. 0%
BA. 4. 6	0	0. 0%
BQ. 1	0	0. 0%
XBB	23	100. 0%
その他	0	0. 0%
計	23	100. 0%

※国立感染症研究所「感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株について（第22報）」において、「引き続き国内外での動向の注視、知見の収集とともに、国内でのゲノムサーベイランスを継続していく必要がある」とされている系統を掲載しています。

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置付けが「5類感染症」となりました。

このため、感染状況の把握は、全数を毎日把握する方式ではなく、国が定める基準に従って指定された医療機関（定点医療機関）での患者数を1週間分まとめて把握する方式に変更されています。（季節性インフルエンザと同様の把握方法）